

勝山市のすがた

勝山市統計書

平成20年版



は　じ　め　に

ここに平成20年版「勝山市のすがた」を刊行いたします。

この統計書は、勝山市の人口、産業、教育、福祉など市民生活の各分野にわたる基本的な統計資料を総合的かつ系統的に収録したものです。本書が、各方面において広く利用され、市勢の動向の的確な把握と、現状の正しい認識に役立つことができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備に努めましたが、今後とも各方面からご指導をいただき、よりいっそう内容の充実を図ってまいりたいと存じます。

最後に、本書の刊行にあたり貴重な資料の提供並びにご協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成20年7月

勝山市長　山　岸　正　裕

凡 例

- 1.本書は勝山市に関する市勢の各般にわたる基礎的な統計資料を収録したものです。
- 2.本書はできるかぎり最新の統計資料を主として収録し、比較対照のため過去の資料も合わせて掲載してあります。
- 3.資料は、官公庁、各種団体、企業及び市役所内各課からの提供・報告、又は総務課において統計資料から直接収集したものです。
- 4.資料の年次・年度は各表右上、数字の単位は表中ないし各表右上に、資料の出所名は各表右下に掲げました。
- 5.数字の単位未満は四捨五入しましたので、合計の数字と内訳の計が一致しない場合があります。
- 6.統計表中「年」とあるのは年間（1月～12月）、「年度」とあるのは年度間（4月～翌年3月）を示しています。
- 7.統計表中の符号の用途は次のとおりです。
 - 「－」… 皆無又は該当数字なし
 - 「…」… 不詳
 - 「X」… 1又は2の事業所に属する数を秘匿としたもの
 - 「△」… 減少
- 8.市内の地区割については、特に注意書きがなければ、勝山市内公民館の区域割によるものとします。
- 9.本書に収録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合及び疑義のある場合には、各表にある各資料出所機関又は総務課に照会してください。
- 10.本書に収録した統計資料について、最新のデータが入手できた際には、「web版勝山市のすがた」にて随時更新していきますので、ご活用ください。
「web版勝山市のすがた」は、勝山市のホームページ
(<http://www.city.katsuyama.fukui.jp>)でご覧になれます。

目 次

◆概 要

1. 市制施行	1
2. 市章・コミュニケーションマーク・市民像	1
3. 沿 革	1
4. 地 勢	2
5. 位置及び位置図	3
6. 面 積	3

◆歴 史

7. 勝山市の歴史	4
-----------	---

◆市民生活	13
-------	----

◆気 象

8. 気象の概況(平成19年)	15
9. 過去の気象最高(低)記録	16
10. 寒候期年別最深積雪	16
11. 月別平均気温・最高最低気温・ 降水量の平年値	16

◆世帯と人口

12. 世帯数と人口	17
13. 地区別世帯数及び人口	17
14. 人口動態	18
15. 地区別人口動態	18
16. 年齢別(5歳階級)人口	19
17. 昼間人口	19
18. 人口集中地区(DID)	19
19. 通勤・通学別流出人口(15歳以上)	20
20. 通勤・通学別流入人口(15歳以上)	20

◆行 政

21. 歴代市長	21
22. 歴代助役	21
22-1. 歴代副市長	21
23. 歴代収入役	22
24. 市職員数	22
25. 地区別基本選挙人名簿登録者数	22
26. 選挙投票状況	23
27-1. 議会活動における本会議の状況	23
27-2. 議会活動における委員会等の開催状況	24
27-3. 付議事件の処理状況	25
27-4. 請願陳情処理状況	25
28. 市議会議員	25
29. 歴代市議会議長及び副議長	26

◆財 政

30. 一般会計予算(当初)	27
31. 特別会計等予算(当初)	27
32-1. 一般会計歳入決算	28
32-2. 一般会計歳出決算	28
33. 特別会計等歳入歳出決算	29
34. 市税負担状況	29
35. 市税納税者数	29
36. 市有財産の状況	29

◆市民所得

37. 市(県・国)内総生産	30
38. 市(県・国)民所得の分配	30

◆教育・文化

39. 歴代教育長	31
40. 教育委員	31
41. 小・中学校年次別児童生徒数	31
42. 小・中学校及び高等学校の男女別児童生徒 数	31
43. 幼稚園の幼児数・教職員数等	32
44. 幼稚園年齢別幼児数	32
45. 高等学校卒業者状況	32
46. 市立図書館	32
47. 勝山市の文化財	33

◆農林業

48. 農林業経営体数	35
49. 農家戸数と人口	35
50. 農業従事者	35
51. 専業・兼業農家数の推移	35
52. 経営耕地面積別農家数の推移	36
53. 経営耕地面積	36
54. 地区別農業の状況	36
55. 家畜飼養農家と家畜・家禽頭羽数	36
56. 作物別収穫(栽培)面積	37
57. 勝山市の主な特産物	37
58. 保有山林面積規模別林家数	37
59. 林野総面積	38
60. 造林伐採面積	38
61. 地区別山林面積	38

◆事業所

62. 産業別就業人口	39
63. 産業分類別・従業上の地位別就業者	39

64.産業分類別事業所数・従業者数の推移	40
65.規模別産業大分類別事業所数及び従業員数	40

◆商工業

66.商業の実体	41
67.従業者規模別商店数	41
68.工業の推移	42
69.産業分類別工業の概況	42

◆福祉・保障

70.生活保護の状況	43
71.市営住宅	43
72.国民年金加入状況	43
73.国民年金(拠出)受給状況	43
74.保育園の状況	44
75.児童センターの状況	44
76.かつやまっ子申請者数	44
77.高齢化率	44
78.介護保険要介護(要支援)認定者数	45
79.介護保険利用状況	45
80.市内介護保険施設・事業所数	45
81.一般職業紹介状況	45

◆保健衛生

82.健康診査受診状況	46
83.国民健康保険加入状況	46
84.国民健康保険税負担額及び給付費用状況	46
85.老人医療受給者数	47
86.医療関係施設	47
87.死因別死亡者数	47
88.勝山市のごみ	47
89.ごみ処理状況(燃やせるごみ)	48
90.ごみ処理状況(燃やせないごみ)	48
91.ごみ処理状況(資源化物回収状況)	48
92.リサイクル率	48
93.合併処理浄化槽設置整備状況	48

◆警察・消防

94.刑法犯罪の発生・検挙の状況	49
95.月別交通事故発生状況(人身事故)	49
96.運転者年齢別交通事故発生状況(人身事故)	49
97.消防団員の現況及び配置	50
98.消防水利現況	50
99.火災件数	50
100.救急出動件数	50

◆生活・環境

101.交通災害共済年度別状況	51
102-1.大気汚染防止法による煤煙・粉塵発生施設対象事業所数	51
102-2.水質汚濁防止法による特定事業所数	51
102-3.福井県公害防止条例による悪臭に係る対象事業所数	51
102-4.福井県公害防止条例による地下水採取対象状況	51

◆建設

103.道路の状況	52
104.国道整備状況	52
105.一般県道整備状況	52
106.主要地方道整備状況	53
107.市道整備状況	53
108.橋梁の状況	53
109.住宅の建て方・構造等状況	53

◆都市計画

110.都市計画区分	54
111.土地区画整理事業	54
112.都市計画街路	55
113.都市公園	55

◆上水道

114.上水道普及状況	56
115.簡易水道普及状況	56
116.水道使用状況	56
117.下水道整備普及状況	56
118.浄化センターの処理量	57
119-1.農業集落排水事業計画概要	57
119-2.農業集落排水事業整備状況	57

◆運輸・通信

120.自動車保有台数	58
121-1.えちぜん鉄道乗車人員	58
121-2.コミュニティバス乗車人員	58
121-3.乗合タクシー乗車人員	58

◆観光

122.観光地別入込状況調査	59
123.観光地入込観光客調査	59

◆施設

124.東山いこいの森利用状況	60
125.勝山市民活動センター利用状況	60
126.市民会館利用状況	60
127.教育会館利用状況	60

128.海洋センター利用状況	60
129.林業者トレーニングセンター利用状況	61
130.勤労青少年体育センター利用状況	61
131.市営体育館利用状況	61
132.岩屋オートキャンプ場利用状況	61
133.勤労婦人センター利用状況	61
134.温泉センター水芭蕉利用状況	61
135.シルバー人材センター事業状況	61
136.「すこやか」利用状況	61
市内の主な官公庁、施設等	62
平成20年度勝山市行政機構図	64
附属資料 勝山市の文化財分布図	65

概要

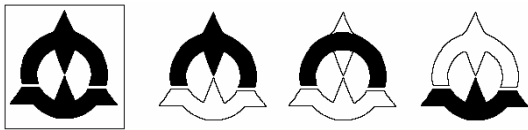
1. 市制施行について

市制施行……昭和29年(西暦1954年)9月1日

大野郡北部に位置する勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、遅羽村、鹿谷村の1町8箇村が合併して勝山市が誕生した。

2. 勝山市の市章・コミュニケーションマーク・市民像

(1) 市章



市章 カ ツ 山 をもって『勝山』を意味する。

さらに、福井、大野、金沢の三方面への発展を三角の各頂点であらわし、丸は和合、三角はどっしりとした安定性を意味し、三角と丸を組み合わせることで将来の発展を意味する。

(2) コミュニケーションマーク



様々な歴史遺産・文化遺産・自然遺産を持つ勝山市を視覚的に表現したもので、形は勝山市のイニシャル「K」と市の花「さつき」を基本とし、勝山の代表的なイメージを象徴した5色を使用して、デザインされている。(表紙下部にカラー印刷有)

詳細は、勝山市のホームページ(<http://www.city.katsuyama.fukui.jp>)をご覧ください。

(3) 市民像

- ・自然を尊び人間を大切にします
- ・常に学び想像力を養い心豊かであります
- ・仕事に誠意をもち勤勉であります
- ・思いやりのある親切な心を持ちます

3. 沿革

本市には、古く旧石器時代から九頭竜川の形成した河岸段丘上に人々の住んでいたことが近年の発掘調査によって明らかとなっている。

縄文時代になると市内各地で生活の跡が確認されている。

奈良時代に越の大徳と呼ばれた泰澄大師により開かれたと伝えられる白山中宮平泉寺は、白山信仰の一大拠点として最盛時には48社36堂6千坊を誇り、越前文化の中心的存在として商工業が繁栄し、また、文化も大いに高まり栄えたが、天正2年(1574)、一向宗徒の焼き討ちにより一夜にしてその栄華を失った。

その後、柴田勝安が一揆を鎮め、袋田村に勝山(袋田)城を築きこれを統治した。勝山の地名は一揆勢が立てこもった御立山(通称村岡山)を「勝ち山」と呼んだことから起こったといわれる。

元禄4年(1691)に、小笠原氏が入封し、明治に至るまで藩政が続いた。廃藩置県後、機業

が勃興し、羽二重を中心とする絹織物の製造が盛んになり、さらに昭和初期には人絹織物の導入によって織物立国を形成した。戦後は、設備の近代化、技術革新により高級合繊織物の一大産地として国内外に知られている。

行政の組織は明治の市制町村制により、現市域内に、1町9箇村が誕生。その後猪野瀬村が勝山町に編入合併され、昭和29年(1954)9月1日、町村合併法により、勝山町、平泉寺村、村岡村、北谷村、野向村、荒土村、北郷村、鹿谷村及び遅羽村の1町8箇村が合併し市制を施行。人口 39,043 人の勝山市が発足した。

昭和63年(1988)に、手取層群の1つ北谷町杉山で、1億2千万年前の肉食恐竜の化石等が発見されて以来、この地域一帯は全国でも貴重な恐竜化石の宝庫としてクローズアップされている。平成12年に福井県立恐竜博物館が開館し、平成18年6月には入館200万人を達成、平成19年には、日本で初めて恐竜の皮膚痕化石が発見され話題となった。

まちづくりの面では、市では、平成14年に「勝山市エコミュージアム推進計画」を掲げている。これは、まち全体を屋根のない博物館(ふるさと元気博物館)とする構想で、市民が自らのまちに愛着を持ち、自然、歴史、伝統文化、あるいは産物、人的ネットワークといった地域の資源を再発見し、それらの新しい価値を見つけ発展させ、地域の誇りと元気を取り戻す計画である。平成17年にはエコミュージアムにもとづく勝山市の地域再生計画が国の認定を受け、エコミュージアム実践プロジェクトを具体化し、地域の活力の再生につなげていくことをめざしている。平成18年には、史跡平泉寺を含む「霊峰白山と山麓の文化的景観」を世界遺産の暫定リストへの登録申請を行った。

福祉の面では、勝山市の高齢化率が28.1%(平成17年国勢調査)と高齢化が進んでいるなか、平成17年に福祉健康センター「すこやか」がオープンし、市民の地域福祉活動と健康づくりの拠点として親しまれる施設の充実を図っている。

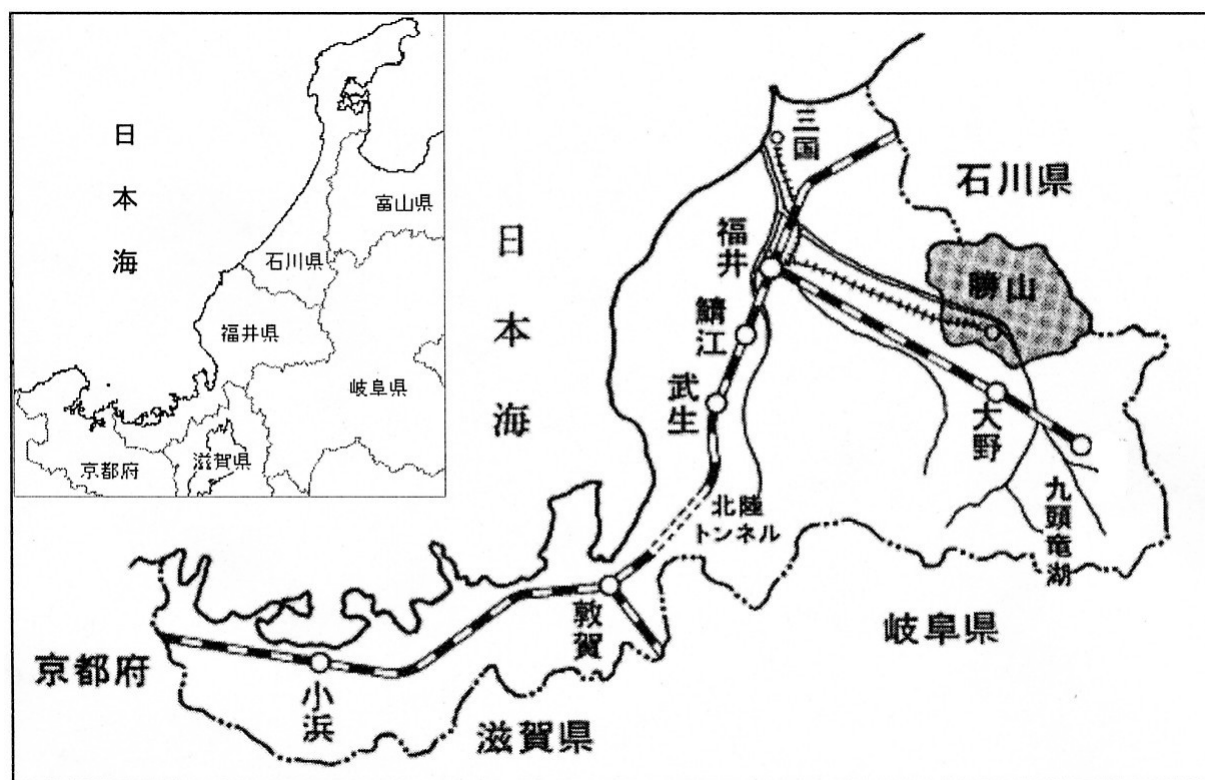
4. 地 勢

勝山市は、福井県の東北部に位置し、市の中心は福井市の東方約28kmの地点にあり、東南は大野市に、西南は福井市、北西に坂井市、吉田郡永平寺町、北は石川県に隣接している。また、市の周辺は1,000m級の山々に囲まれ、中心部は県下最大河川である九頭竜川の中流域に位置している。

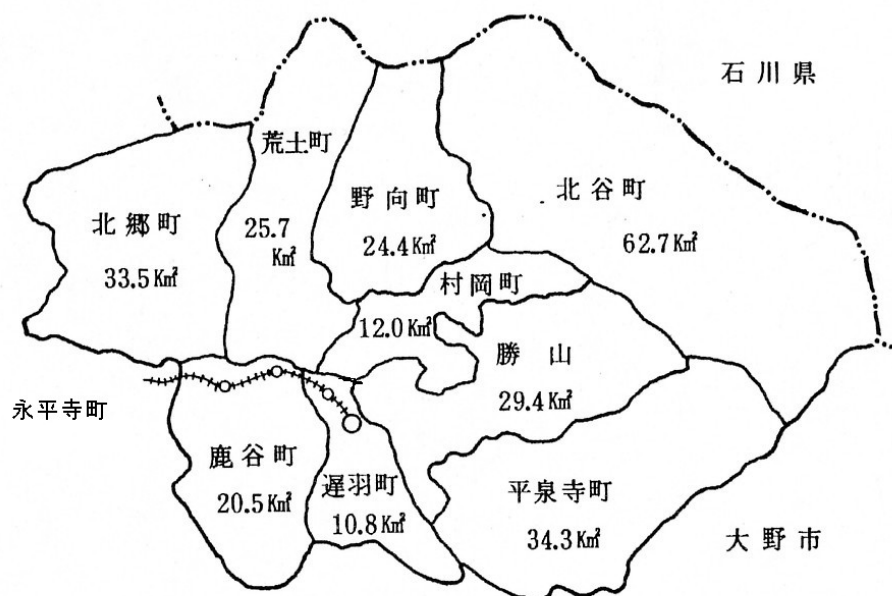
市街地は九頭竜川の流れて形成された河岸段丘に位置しており、明治以来の地場産業である繊維産業を中心とした商工業、古くから盛んな農林業を基幹産業とする水と緑の豊かな田園都市である。

5. 位置及び位置図

東 経	北 緯	標 高		面 積	長 さ	
		最 高	市役所		東 西	南 北
136° 23'34"	36° 0'13"	1,671.4m	129.4m	253.68 km ²	23.3km	17.0km
136° 39'44"	36° 9'17"	(大長山)	(中央公園)			



6. 面 積 (253.68 km²)



(注)勝山市の面積については、市制施行以来 253.32 km²としてきたが、昭和 62 年に国土地理院が全国の 25000 分の1の地図を作成した際、精査したところ 253.68 km²と判明し、以後はこれをもって面積としている。ただし、旧町村ごとの面積については発表されなかったため、上記の地区ごとの面積の合計は従前のとおり 253.32 km²となっている。

歴史

7. 勝山市の歴史

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
紀元前13000年頃 紀元前10000年頃	旧石器時代 縄文時代草創期	猪野口地区周辺でナイフ形石器などが使われる(猪野口南幅遺跡) 平泉寺町赤尾地区周辺で、動物を捕獲するための 槍の先に付けられた石器(槍先形尖頭器)が使われる
紀元前5000年頃	縄文時代早期	滝波地区破入・壁倉地区幕根・ 嶗崎地区三室・暮見地区古宮などで集落が形成
紀元前2500年頃	縄文時代中期	三室遺跡や滝波遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前1500年頃	縄文時代後期	鹿谷町本郷遺跡や北郷町上野遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前500年頃	縄文時代晩期	猪野口地区大島田遺跡や北郷町志比原遺跡付近に縄文集落が形成
紀元前100年頃 300～500年頃	弥生時代 古墳時代	鹿谷町発坂や北郷町森川周辺の段丘上に弥生集落が形成 荒土町別所や平泉寺町大渡、鹿谷町発坂、西光寺など 集落を見下ろす山の尾根上に有力な人々の古墳が形成
717年	養老元年	泰澄大師が平泉寺を開山
930年頃	承平年間	古文書に猪野毛屋付近をさすと思われる「毛屋郷」の名が散見
1084年	応徳元年	平泉寺が比叡山延暦寺末となり、勢力を拡大
1341年	興国 2年	新田義貞の武将、畑時能が伊知地の鷲ヶ岳城にて戦死
1524年	大永 4年	平泉寺祭礼に際し流鏑馬の神事を実施
1539年	天文 8年	平泉寺賢聖院、約500石の領地を朝倉氏より認知
1574年	天正 2年	平泉寺、一向一揆により全山焼失
1575年	3年	柴田義宣が七山家の一揆平定に着手
1577年	5年	柴田義宣は討死、養子勝安が一揆平定
1580年	8年	柴田勝安は村岡山から袋田村に移り、 現在の市民会館の地に勝山城築城
1583年	11年	柴田勝安は賤ヶ岳で討死、 その後丹波長秀の重臣成田重正が勝山城に入封 太閤検地開始
1601年	慶長 6年	福井藩領となり、家臣林長門が勝山城代
1615年	元和元年	勝山城は一国一城令により、取りこわし
1624年	寛永元年	松平秀康の5男松平直基が勝山藩(3万石)を統治
1636年	12年	松平秀康の6男松平直良が勝山藩(3万5千石)を統治
1644年	正保元年	福井藩預かり地となり、瓦門番が交代で統治
1686年	貞亨 3年	福井藩減封により、幕府直轄領となり勝山陣屋が置かれ、 三人の代官を配置
1691年	元禄 4年	勝山藩主(2万2,777石)として小笠原貞信、美濃高須より移封
1702年	元禄15年	九頭竜川が氾濫し堤防決壊、田畑家屋流出(長湊は一面川原)
1706年	宝永 3年	九頭竜川堤防復旧工事完成
1708年	5年	二代信辰、勝山城主
1709年	6年	幕府より築城の奉書が出され、 築城に取り掛かるが本丸のみ完成(再建)

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1715年	正徳 5年	後町より出火、寺院3・町屋120軒焼失
1721年	享保 6年	再び九頭竜川氾濫
1726年	11年	女神川氾濫、猪野口村全滅(58軒中の48軒流出、死者75人)
1746年	延享 3年	城下に大火発生、郡町(現本町4丁目付近)から出火、 袋田町・後町・武家屋敷に延焼、全町630軒のうち458軒焼失
1771年	明和 8年	五代信房築城を再開、二ノ丸土居と堀を築き、ここに居館を移動 財政建て直しのため税制の改正をはじめたので、 領内に百姓一揆が起こり、これを中止
1781年	安永10年	城下に大火発生、民家582軒、武家屋敷89軒余焼失
1782年	天明 2年	町火消しを組織(袋田町・後町・郡町火消組3組)
1783年	3年	当時戸数2,868軒、人口11,561人
1793年	寛政 5年	六代長教、二ノ丸櫓台、三ノ丸土居と堀を築造
1799年	11年	城下に大火発生、郡町128軒、後町155軒、尊光寺など11箇寺焼失
1822年	文政 5年	勝山城御殿より出火、門・土蔵・高塀を残して全焼
1823年	6年	勝山城は町・郷からの見舞金で復興、瓦と桧皮葺の御殿が完成
1826年	9年	七代長貴築城再開、北側の堀を掘り、 東の土居、櫓台を築き二ノ丸完成
1831年	天保 2年	大凶作
1833年	4年	再び大凶作
1836年	7年	大飢饉2年続き、城下に打ち壊し、貧民・死者が続出
1841年	12年	秦魯齊の進言と家老林毛川の努力により、 読書堂(翌々年成器堂と改称)を建設
1842年	13年	長湊大火、長湊81軒・後町7軒焼失、滝波村85軒類焼
1848年	嘉永元年	長山鉄砲場に講武台を建設開始(7年後の安政2年に完成)
1850年	3年	勝山藩、はじめて大砲を鑄造
1853年	6年	勝山藩「煙草改会所」を設置
1857年	安政 4年	勝山藩「煙草改会所」を「産物改会所」と改称
1869年	明治 2年	小笠原長守 勝山藩知事に任命 7月に廃藩置県により勝山県へ (他に現市域内に鯖江県、郡上県、本保県の一部あり)
1871年	4年	勝山県等を廃し福井県へ 福井県を廃し足羽県へ
1872年	5年	勝山郵便取扱所創立 学制発布により成器小学校を設置 (順次各地区に設置され、明治15年には28の小学校が創立)
1873年	6年	区制改正により全町村17大区に変更
1876年	9年	足羽県を廃し、越前・若狭を合わせて敦賀県 敦賀県を廃止し、現市域は石川県26大区に所属 勝山製糸会社(三の丸製糸)創立
1878年	11年	大小区を廃止し、郡に郡長、町村に戸長を設置
1881年	14年	石川、滋賀の2県より若越11郡を分離して 福井県を設置(現在の県域がほぼ確定)
1888年	21年	大野警察署勝山分署設置 製糸業大いに興り、製品を海外に輸出

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1889年	明治22年	町村制実施され勝山町、猪野瀬村、平泉寺村、村岡村、野向村、 北谷村、遅羽村、荒土村、北郷村、鹿谷村(1町9箇村)
1896年	29年	勝山大火、立石より出火、町屋1,200余軒・寺18箇寺焼失 (勝山町全戸数の80%)
1897年	30年	勝山葉タバコ専売所開設
1904年	37年	勝山～福井間に乗合馬車開通
1911年	44年	勝山町電話開通
1912年	大正元年	下荒井に簡単な鉄線懸木造り橋が架橋
1914年	3年	福井～勝山～大野間電車開通(越前電気鉄道創設)
1915年	4年	勝山橋架橋
1920年	9年	第1回国勢調査
1921年	10年	小舟渡に船橋に代わって小舟渡橋が架橋
1931年	昭和 6年	猪野瀬村を勝山町に編入
1932年	7年	人絹織物業が盛んとなり、工場数69、工員3,000人、生産額1,300万円
1933年	8年	成器女子校・町役場焼失、翌日尊光寺も焼失
1937年	12年	勝山橋の木橋の一部が流失、鉄筋コンクリート橋に改修
1942年	17年	私立勝山精華女学校開校
1946年	21年	勝山病院開設
1948年	23年	勝山高等学校開校 谷トンネル開通
1949年	24年	勝山商工会(勝山商工会議所の前身)創立
1950年	25年	勝山中学校及び成器南小学校新築落成
1954年	29年	1町8箇村合併し市制施行(初代市長 山内継喜)
1956年	31年	雁が原スキー場オープン 財政再建団体の指定
1957年	32年	勝山北部中学校開校
1958年	33年	新市庁舎落成
1959年	34年	伊勢湾台風猛威(被害3億8千万円)
1961年	36年	市消防本部、市消防署設置 第2室戸台風(被害2億3千万円)
1962年	37年	市有林100万本植樹完了 白山国定公園が国立公園に昇格 電話自動化
1963年	38年	38(サンパチ)豪雪(被害10億5千万円) 勝山橋架け替え工事完成 勝山総合病院移転完成(村岡町郡) 市上水道建設事業竣工 農業構造改善事業計画地域としての指定及び 低開発地域工業開発地区の指定
1964年	39年	市議会議員の選挙を大選挙区制に変更を決議 勝山新大用水完成 市制10周年記念行事実施 勝山都市計画正式決定

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1965年	昭和40年	市農協誕生及び市農業センター完成 緊急道路整備3箇年計画に着手 40.9三大風水害(被害総額18億円)
1966年	41年	交通安全都市宣言及び青少年愛護都市宣言 福井～勝山線県道舗装完成 新住居表示実施 市営火葬場落成
1967年	42年	勝山中部中学校校舎完成 市民会館落成
1968年	43年	第23回国民体育大会(勝山市において4種目開催) 財政再建団体の指定 下荒井隧道・市荒川大橋完成
1969年	44年	下荒井橋完成
1971年	46年	雇用促進住宅「下毛屋宿舎」、勤労者体育センター、 老人センター「平泉寺荘」完成 大野・勝山地区広域市町村計画策定
1972年	47年	国道157号新谷トンネル開通
1973年	48年	勝山市総合振興計画決定
1974年	49年	勝山南部中学校開校(中学校統合計画完了) 京福電鉄越前本線勝山～大野間廃線 市制20周年記念行事実施
1975年	50年	財政再建計画5年短縮して完了 成器西小学校が旧勝山中学校跡へ移転 勝山市名誉市民条例制定
1976年	51年	教育福祉会館落成 名誉市民第1号多田清氏 多田育英基金設立 中央公園完成 市公共下水道事業着手
1977年	52年	農村総合整備事業着手 市農協カントリーエレベーター完成(伊波)
1978年	53年	市営庭球場及び市営弓道場完成 勝山・上志比衛生センター完成
1979年	54年	北児童センター完成 長山公園グラウンド夜間照明施設完成 一般国道157号開通(谷峠付近)
1980年	55年	東山いこいの森完成 市農協カントリーエレベーター完成(岡横江)
1981年	56年	56豪雪(被害61億1千万円) 勝山市新総合振興計画基本構想の策定 消防本部、消防署発足20周年記念行事実施 商工会議所創立30周年記念行事実施 南児童センター完成

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1982年	昭和57年	2市1村の連携による奥越青少年愛護センターを設置 越前大仏起工式 西児童センター完成 遅羽農村環境改善センター落成
1983年	58年	勤労婦人センター完成 B&G財団勝山海洋センター完成
1984年	59年	市の木「スギ」、市の花「サツキ」を制定 林業者健康トレーニングセンター完成 市営住宅本町団地完成 南保育園完成 野向小学校校舎完成 長山トンネル開通 雁が原青少年旅行村開設 越前大仏大門・中門・回廊起工式 市制30周年記念行事実施
1985年	60年	荒土小学校校舎完成 克雪センター完成 浄化センター通水式 奥越地域地場産業振興センター竣工式 国道416号・バイパス伊波～滝波間開通 クリーンセンター火入れ式
1986年	61年	奥越花卉集出荷場竣工式 温泉ボーリング調査起工式(村岡町浄土寺地係) 全市域ごみ収集開始 農業共済事業奥越で広域化 国道157号谷トンネル付近で土石流発生 北郷児童センター落成 国が選ぶ水辺環境100選に「弁天緑地」 日本の道100選に「中宮平泉寺参道」
1987年	62年	林道河合線完成 特別養護老人ホーム「さくら荘」落成 越前大仏開眼・落慶法要 勝山市日中友好協会設立
1988年	63年	村岡小学校第2体育館落成 勝山北部中学校体育館落成 さくら荘デイサービスセンター落成 鹿谷児童センター落成 市農協開館落成 北谷町杉山で1億2千万年前の肉食恐竜の化石発見 広域基幹林道「法恩寺線」全線開通 勝山商工会館新築落成

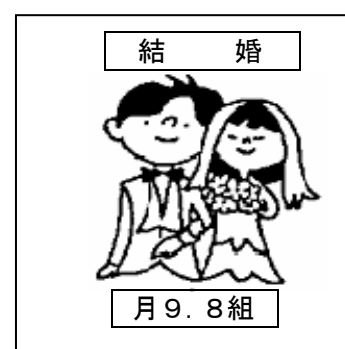
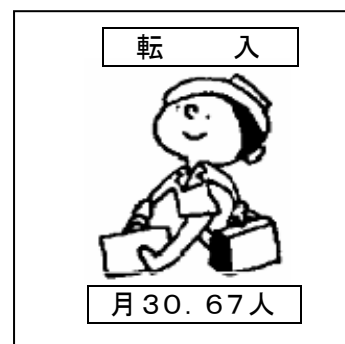
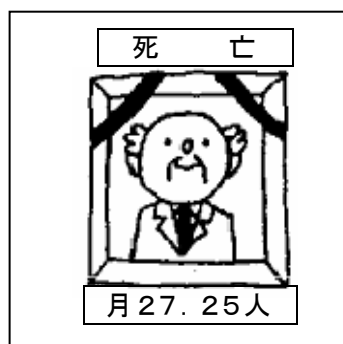
西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1989年	平成元年	勝山南高等学校開校(旧勝山精華高等学校) (社)シルバー人材センター発足 一般廃棄物(不燃物)最終処分場「グリーンヒル上野」完成 「平泉寺坊院跡」発掘調査開始
1990年	2年	第3次勝山市総合振興計画基本構想の策定 ニューメディアコミュニティパソコン実験ネット開局 温泉センター「水芭蕉」落成 アイドルキャラクター「チャマゴン」誕生(10/10)
1991年	3年	消防庁舎落成 アスペン音楽祭開催(第1回) 市立図書館落成
1992年	4年	温泉センター「ふれあい会館」落成 白山国立公園昇格30周年記念事業実施 野向小学校体育館落成 ふるさと森林館落成 法恩寺山・芳野原リゾート開発本格着工 蓬生坂トンネル開通 越前勝山城博物館落成
1993年	5年	法恩寺有料道路開通 デイサービスセンター「九頭竜」落成 平泉寺保育園新築 勝山南大橋開通 老人保健施設「鷺巣苑」落成 スキージャム勝山オープン
1994年	6年	恐竜文化賞を創設、全国から児童文学作品などを募集 福祉バス運行開始 市制40周年記念事業実施 「ゆとり創造宣言都市」の指定 米国アスペン市と友好都市提携調印
1995年	7年	勝山市老人保健福祉計画策定 阪神・淡路大震災被災地に救援物資を輸送 まちづくり景観条例を制定 市営南大橋住宅が完成 印鑑登録オンライン化
1996年	8年	「京福電車存続対策勝山市民会議」を結成、存続運動が活発化 老人保健施設「シルバーケア九頭竜」落成 勝山橋本橋工事開始 小松市、白峰村と災害相互応援協定締結 白山禅定道が「歴史の道百選」に選ばれる 子育て支援センター開設 県が県立恐竜博物館(仮称)を長尾山に建設決定 県立クレイ射撃場オープン 「恐竜文化賞」の絵本などを発刊

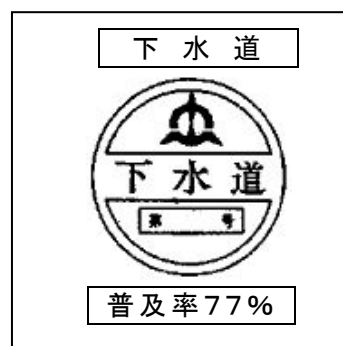
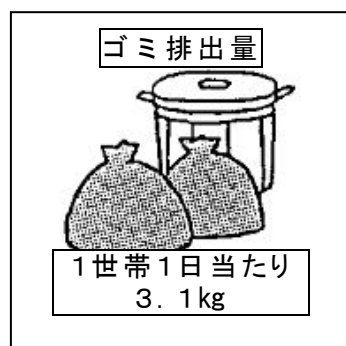
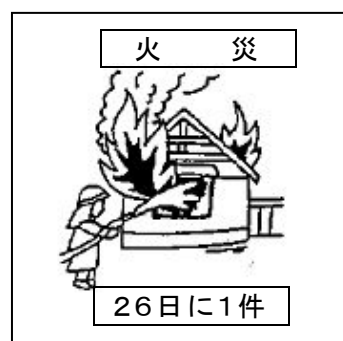
西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1997年	平成 9年	勝山市緑の基本計画策定 国史跡「白山平泉寺旧境内」拡大指定 あさひ公園完成 洛陽市交流10周年、越前大仏落慶10周年記念合同事業実施 長尾山総合公園事業着工 北谷小学校廃校 「桜づつみ」に建設省「手作り郷土賞」 雇用促進住宅「サン・コーポラス鹿谷」完成 都市計画道路「元禄線」完成
1998年	10年	京福電車と地球を愛する会発足 かつやま子どもの村小学校開校(旧北谷小学校跡地) 特別養護老人ホーム「さつき苑」落成 県立恐竜博物館着工 中部縦貫自動車道勝山地係で着工 ふくい県民長寿祭勝山で開催 「恐竜エキスポふくい2000」勝山市実行委員会発足 ロードパーキング「恐竜街道」オープン
1999年	11年	中部縦貫自動車道油坂峠道路開通 福井社会保険病院移転開業(旧勝山病院) 老人保健施設「サンビューかつやま」落成 第2回恐竜文化賞作品を募集 チャマゴンにガールフレンド「チャマリ」誕生(7/27) ふれあい交流館「勝山ニューホテル」オープン ねんりんピック'99福井(ウォークラリー会場)
2000年	12年	チャマゴン・チャマリ路線バス運行開始 新勝山橋開通 「いきいきかつやま健康づくりプラン」第3次保健計画策定 勝山市老人保健福祉計画・勝山市介護保険事業計画策定 市街地循環福祉バス「きらめき号」運行開始 福井県立恐竜博物館オープン 恐竜エキスポふくい2000開催(7/20～9/17) 「活力あるまちづくり」自治大臣賞受賞 第4次勝山市総合計画基本構想の策定
2001年	13年	第1回「ふるさとルネッサンスの集い」開催 火葬場「和みの杜」完成 第43回県緑化大会開催 市民の声・メールボックスの設置 京福電車存続総決起集会開催 京福電車正面衝突事故 勝山消防本部・署発足40周年記念式典開催 平泉寺白山神社境内の杉と鮮苔 せんたい のかおりが 「かおり風景100選」に選ばれる 白山文化フォーラムin勝山'01開催 電車存続県民総決起集会

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
2001年	平成13年	勝山市コミュニケーションデザインを制定 「かつちやま歩こう会」発足
2002年	14年	荒土公園「おもしろわいわい恐竜公園」完成 「アクションプラン21」教育シンポジウム開催 「第4次勝山市総合計画基本計画」策定 勝山夏まつりウィーク「勝ち山夏物語」はじまる 毎月21日を「健康の日」に制定 第3セクター「えちぜん鉄道株式会社」設立 「勝山市子どもセンター」開設 奥越地域地場産業振興センター内「インキュベート施設」業務開始 「勝山市エコミュージアム推進計画」策定 地域イントラネット開通 鉄道存続のまちサミットINかつやま 「勝山市男女共同参画基本計画」策定
2003年	15年	「勝山市都市計画マスタープラン」策定 「岩屋オートキャンプ場」完成 「勝山市エコミュージアム協議会」設立 市民活動センター開所 「えちぜん鉄道」勝山ー永平寺口間開業により全線開通 福祉健康センター「すこやか」起工
2004年	16年	関西学院大学ワンダーフォーゲル部 加越国境冬山登山遭難事故から14人全員救出 平成24年度を目標年次とする 「勝山市行財政改革大綱」改訂版及び実施計画書を策定 遅羽児童館を開設 公共施設インターネット予約申請を開始 市制50周年記念事業実施 福井豪雨 市民対話集会を各地区10会場で開催 スポレク福井2004開催(勝山市はトランポリンとマラソン競技を開催)
2005年	17年	福祉健康センター「すこやか」完成 地域再生計画が国の認定を受ける 大清水空間・広場周辺整備(まちづくり交付金事業)完成 福井県総合防災訓練実施 国民文化祭(IT文化フェスティバル、恐竜文化フェスティバル)開催 第1回勝山恐竜クロカンマラソン開催 勝山市雪害対策室設置(平成18年豪雪)(被害額8億6千万円)
2006年	18年	中間処理施設「ビュークリーンおくえつ」(大野市南新在家)、埋立処分施設「エコバレー」稼動 「平泉寺」「旧玄成院庭園」「越前禅定道」を世界遺産暫定リストへ登録申請 旧木下企業場を「勝山市旧企業場」として市指定文化財に登録
2007年	19年	「市営温水プール」オープン 北谷町で国内初の恐竜被布痕化石確認

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
2007年	19年	「国史蹟白山平泉寺旧境内」で14世紀頃の 中国製白磁観音像が出土 『世界のクリーンな都市ランキング』で、 勝山市が第9位にランク付けされる 杉山橋開通 経済産業省の近代化産業遺産として勝山市旧機業場などが認定

市民生活





※算出にあたっては、世帯数及び人口については平成20年4月1日現在の住民基本台帳人口による世帯数(8,061世帯)及び人口(26,762人)を、その他のデータについては最新の数字を基礎にした。

※「市の予算」については平成19年度一般会計歳出決算額、特別会計歳出決算額の合計額を用いた。